

はじめに

近年、プレジャーボートを活用した海洋性レクリエーションの振興や放置艇対策の促進のため、マリーナやボートパーク等において、浮棧橋等の係留施設の整備が進んでいます。

このような状況に対応し、当協会は低コストにして利便性の高い係留施設の開発・普及を目的に、「係留施設研究委員会」（当初は係留施設研究会）を平成4年に設置し、これまでに、国内外の基準の調査やメーカーの技術的蓄積を基に、「プレジャーボート用浮棧橋設計マニュアル」をはじめ4刷のマニュアルを発行する等、設計の標準化を図ってまいりました。

しかし、浮棧橋の品質管理に関しては、未だ明確な基準やガイドラインはなく、これまではメーカーによる個別の品質管理基準により実施されていることがほとんどでした。

そこで、浮棧橋の品質管理の向上と標準化を目指し、本マニュアルを作成しました。本書は、港湾工事標準仕様書をベースに、品質管理の方法、写真管理などを項目別にまとめています。本書により、購入材料、工場製造から現場、完成までの管理できる内容となっております。

プレジャーボート用浮棧橋の製造や設置工事などに際し、関係者の皆様の参考資料としてご活用いただき、係留施設の品質向上の促進につながれば、甚だ幸いに存じます。

最後に、本書の作成にあたり、ご指導・ご協力を賜りました国土交通省港湾局環境整備計画室をはじめ、委員および関係者各位に対して深く感謝申し上げます。

平成18年4月

社団法人 日本マリーナ・ビーチ協会
会長 松尾道彦

【改訂の履歴】

版数	発行日	改訂内容
第1版	平成18年 (2006年)04月	初版発行
第2版	令和04年 (2022年)11月	第1章 適用範囲の文献を最新のものに更新 第3章 「3-2-1 浮棧橋の据付精度」に注2)を追加 第4章 「4-1 一般事項」の記載変更 巻末資料「A-1 維持管理」の記載変更 巻末資料「A-2 かし担保」の記述変更 巻末資料「A-3 浮棧橋の保証」を追加

※第2版については、係留施設メーカー並びに専門コンサルタントの皆様のご意見等をふまえ改訂。

目 次

第1章 適用範囲	1
1-1 適用範囲	1
1-2 品質管理全体フロー	2
1-3 浮棧橋構造の分類	3
1-4 浮棧橋材料の分類	6
第2章 工場品質管理	7
2-1 購入材料管理	7
2-2 製造時品質管理	8
2-2-1 浮棧橋（セパレートタイプ）	8
2-2-2 浮棧橋（ウェイラータイプ）	10
2-2-3 係船ビーム	12
2-2-4 連絡橋	13
第3章 現場品質管理	14
3-1 現場搬入時品質管理	14
3-2 完成時出来形管理	15
3-2-1 浮棧橋の据付精度	15
3-2-2 連絡橋の据付精度	16
第4章 写真管理	17
4-1 一般事項	17
4-2 浮棧橋、係船ビーム	18
4-2-1 材料購入	18
4-2-2 工場加工・製造	19
4-2-3 寸法検査	19
4-2-4 現場搬入	20
4-2-5 現場据付	20
4-2-6 完成	21
4-3 連絡橋	21
第5章 鋼管杭	22
5-1 品質管理	22
5-2 出来形管理	22
5-3 写真管理	23
<巻末資料>	24
A-1 維持管理	24
A-2 契約不適合責任	24
A-3 浮棧橋の保証	25
A-4 係留施設 研究委員会 構成委員	26